

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

7月20日 午後2時～4時

7月の
ミニ講話

『認知症とがんと私』

浜渦辰二さん

ケアを研究する静岡市民の一人

今回は、これまでのミニ講話を聴きながら考えたことをお話しします。

今年三月には「ほどほどの健康―無病息災ではなく一病息災―」（松田先生）を拝聴しました。しかし、「二病息災」というものの、星の数ほどある病気のうち、どの病気なら抱えていても息災なのでしょう。

四月の「大人こそ絵本を―絵本の世界をのぞいてみませんか―」（上藤さん）で紹介された『だいたいじょうぶ だいたいじょうぶ』という絵本のなかで、転んで膝を擦りむいた孫におじいちゃん「たいていのびょうきやけがは、いつかなおるも

んだ」という場面がありました。でも子どもは大人になるにしたがって、簡単には治らないような病気もあるのを学ぶことになるでしょう。

或るアンケート調査によると、「シニアがなりたくない病気は？」に対する回答として、一位が「認知症」で、二位が「がん」だったそうです。今のところ、ともに完治が難しく、それを抱えながら、「ともに生きる」よう言われるのですが、もし、ともに生きる「一病」を選ぶことができたとしても、あえてこれらを選ぶ人は少ないように思います。

今回は、認知症とがんとを比較対照させながら、私たちの向き合い方を考えてみたいと思います。ただし、私は医療・ケアに従事する立場からも、今の時点では当事者やその家族という視点からお話しできませんので、ケアを研究する静岡市民として、私のこれまでの認知症とがんとに関わりをお話したいと思います。



最近の主な論文

- ・生きがいの喪失と再発見
―神谷美恵子とヴィクトール・フランクル―(2025)
- ・思春期をめぐる親-子のケア
―フロイトとフランクルにおける「魂」「心」「精神」をめぐる―(2024)
- ・医療におけるスピリチュアルケアの源流となった三人(2023)

今月は会場のみ開催になります。

今月は、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。オンラインからは参加できません。

会場参加希望の方は、開催時刻の二時までに、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。申し込み不要です。参加費として百円ご用意お願い致します。また、各自水分のご持参もお願い致します。

今後のオレンジカフェ予定

令和7年8月17日 (日)

窪田由佳子さん (ピアニスト)

- ・ピアノ教師の傍ら、シベリア抑留を語り継ぐ
- ・著書 小説「シベリアのバイオリン」地湧社
絵本「シベリアのバイオリン」地湧社

ミニ講話:「父のシベリア抑留体験を語り継ぐ」

当日は夫・小澤保雄さんのトランペット演奏もお楽しみいただけます。



令和7年9月21日 (日)

佐久間愛さん

麻生歯科クリニック 歯科衛生士

令和7年10月19日 (日)

遠藤博之先生

たんぽぽ診療所 院長



会場の写真

カフェのプログラム

一、ミニ講話 浜渦辰二さん

質疑応答

二、声のワークショップ 上藤美紀代さん

浜渦さんを囲んで認知症座談会(2階)

個別相談(武田竜一郎さん)

今月の相談担当者

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、武田竜一郎さん(社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員)が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポダイ和かな)

会場提供 **社会福祉法人静和会**

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com



バス: 静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分